

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (心理療法) / 心理療法概説 (2 単位)		3. 科目番号	SPMP3353 PSMP3353 EDPS3308						
2. 授業担当教員	野口 理英子									
4. 授業形態	講義、演習、討議		5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	様々な心理療法の中から、クライアント中心療法、精神分析療法、行動療法、家族療法、芸術療法等の代表的な心理療法を取り上げ、その理論の成り立ちの歴史から概要と意義を学び、それぞれの技法を体験的に学習する。また、それぞれのアプローチにおける適応と限界についての理解を深めることで、クライアント自身や問題に適した心理療法を学ぶ。プライバシーへの配慮を含めた心理療法における倫理を学ぶ。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理療法の諸理論・諸技法について、その背景となる考え方を理解し、それぞれの治療・援助の方法を具体的に知ること、その考え方や方法を日常生活に応用できるようになる。 2. 対人援助の場で、利用者の抱える問題に応じた心理的側面の援助方法を選ぶことができるようになる。 3. 訪問による支援や、地域支援の意義について理解している。 									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマごとに課題シートを作成する (8回程度を予定)。 2. レポートを作成する (1200字程度) 									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 指定しない。授業内で資料を配布する。</p> <p>【参考書】 窪内節子・吉武光世著『やさしく学べる心理療法の基礎』培風館、2003。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の授業に対して、学生自身の書いたものを通して、基本的事項の理解度を評価する。 2. 授業への参加度として、教員からの質問への応答の頻度と根拠を持った発言かどうかを評価する。 3. 課題レポート (または、期末試験) の文章が論理的であるかどうか、および基本的事項が盛り込まれているかどうかを評価する。 <p>○評定の方法</p> <p>授業内の課題シート・学習ノート、授業態度・参加姿勢、課題レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業内の課題シート・学習ノート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2. 授業態度・参加姿勢</td> <td>総合点の10%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート(期末試験)</td> <td>総合点の60%</td> </tr> </table>				1. 授業内の課題シート・学習ノート	総合点の30%	2. 授業態度・参加姿勢	総合点の10%	3. 課題レポート(期末試験)	総合点の60%
1. 授業内の課題シート・学習ノート	総合点の30%									
2. 授業態度・参加姿勢	総合点の10%									
3. 課題レポート(期末試験)	総合点の60%									
12. 受講生へのメッセージ	<p>以下のことを心がけて下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には積極的な態度で参加して下さい (意見を述べる、質問する、等)。 2. 事前・事後学習を通して、理解を深めて下さい。 3. 他の受講生に迷惑をかけないで下さい (私語、等)。 									
13. オフィスアワー	授業内で周知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション 講義の概要について説明する。	事前学習	シラバスの内容を確認する。							
		事後学習	家族や知人との間で行われる相談と心理療法において行われる相談との違いを考え、まとめる。							
第2回	心理療法の成り立ちから現在までの経緯、各理論の位置づけについて学ぶ。	事前学習	次の用語の意味について調べる。 「心理療法」「カウンセリング」「臨床心理学」「精神療法」							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第3回	心理療法の目的と進め方、適用と限界、他職種との連携について学ぶ。	事前学習	心理療法の適用と限界について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第4回	精神力動的心理療法の理論について学ぶ。	事前学習	精神力動的心理療法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第5回	精神力動的心理療法の技法について学ぶ。	事前学習	精神力動的心理療法の技法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第6回	クライアント中心療法の理論について学ぶ。	事前学習	クライアント中心療法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第7回	クライアント中心療法の技法について学ぶ。	事前学習	クライアント中心療法の技法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第8回	行動療法の理論・技法について学ぶ。	事前学習	行動療法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第9回	認知行動療法の理論について学ぶ。	事前学習	認知行動療法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第10回	認知行動療法の技法について学ぶ。	事前学習	自分はどんな「イラショナル・ビリーフ」を持っているか考え、書き出す。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第11回	ゲシュタルト療法の理論・技法について学ぶ。	事前学習	ゲシュタルト療法について調べる。							
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。							
第12回	交流分析の理論・技法について学ぶ。	事前学習	交流分析について調べる。							

		事後学習	授業の配布資料をふり返る。
第13回	芸術・表現療法の理論について学ぶ。	事前学習	芸術・表現療法について調べる。
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。
第14回	芸術・表現療法の技法について学ぶ。	事前学習	コラージュ療法について調べる。
		事後学習	授業の配布資料をふり返る。
第15回	授業のまとめ	事前学習	これまでの授業の内容について整理する。
		事後学習	期末レポートを作成し、提出する。